

くKUNIMIにみ 議会だより

令和6年
(2024年)

No.204
9月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



家族5人でUターンした
佐久間秀幸です!



9月定例会
(令和6年9月3日から令和6年9月13日)

遊水地群の整備で減災を! ————— P8

議員8名が町のアレコレ徹底討論! ————— P9

議会報告懇談会で聞かせて!

あなたが町・議会に対して思うこと ————— P19

国見の「希望の星」、佐久間さんを徹底取材! ————— P20

発行●福島県国見町議会 編集●議会広報常任委員会 発行日●令和6年(2024年)10月25日

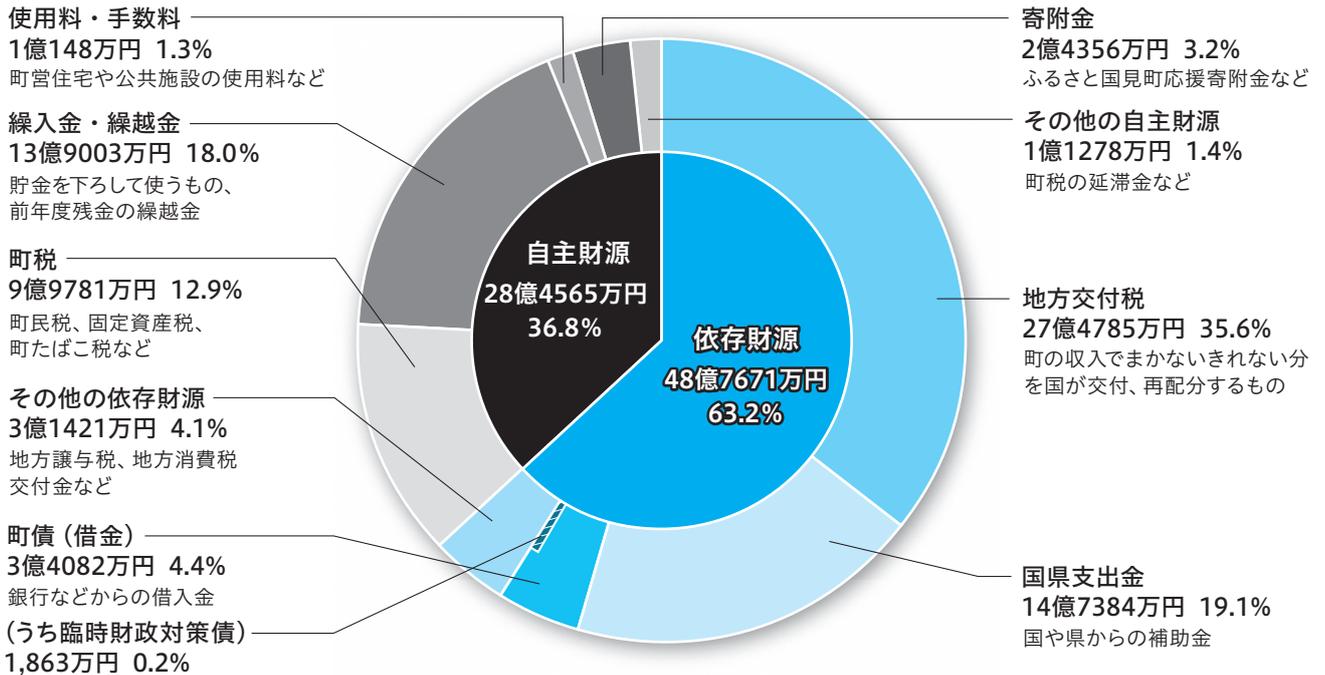
〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二一番7 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>

令和5年度一般会計決算

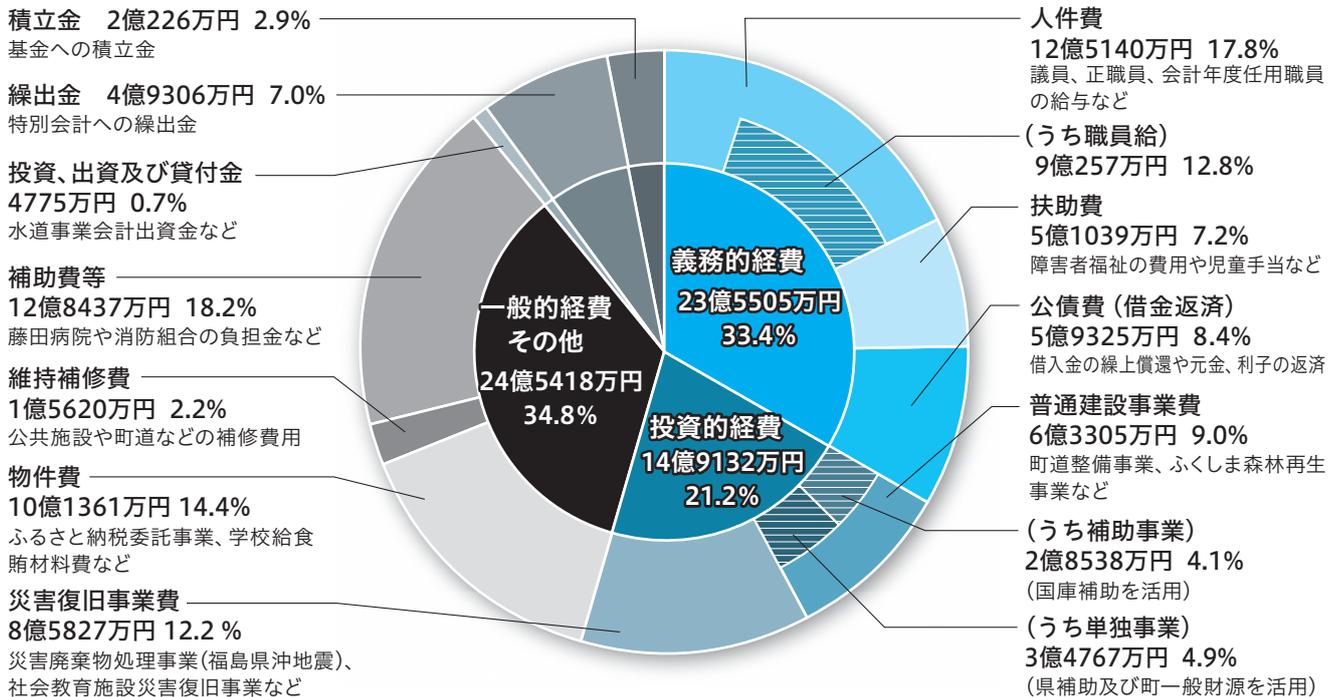
歳出額 70億4362万円 (前年対比0.9%減)

一般会計の決算においては、歳入総額77億2236万円(前年対比7.4%減)、歳出総額70億4362万円(前年対比0.9%減)となった。歳入歳出差引は6億7874万円、翌年度に繰り越すべき財源は9773万円、実質収支は5億8101万円の黒字決算となった。

歳入 77億2236万円



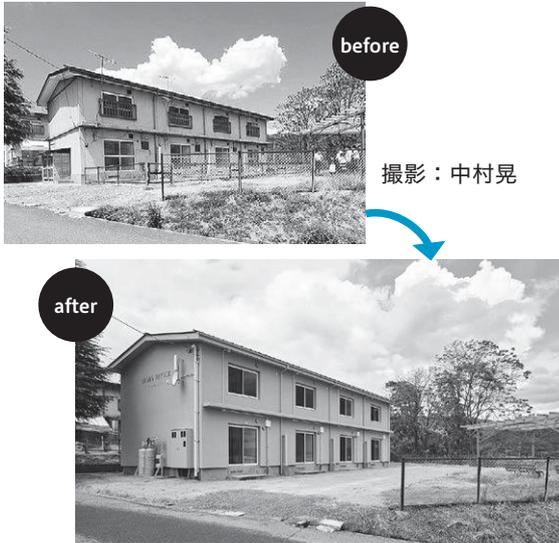
歳出 70億4362万円



大坂団地リノベーション事業

4921.5万円

テレワークやサテライトオフィス拠点としての利用を想定し、旧大坂団地の1棟をリノベーションしました。現在、4棟中3棟が埋まっている状況です。



令和5年度の 主な新規事業

指定文化財災害復旧事業(佐藤家住宅)

172.7万円

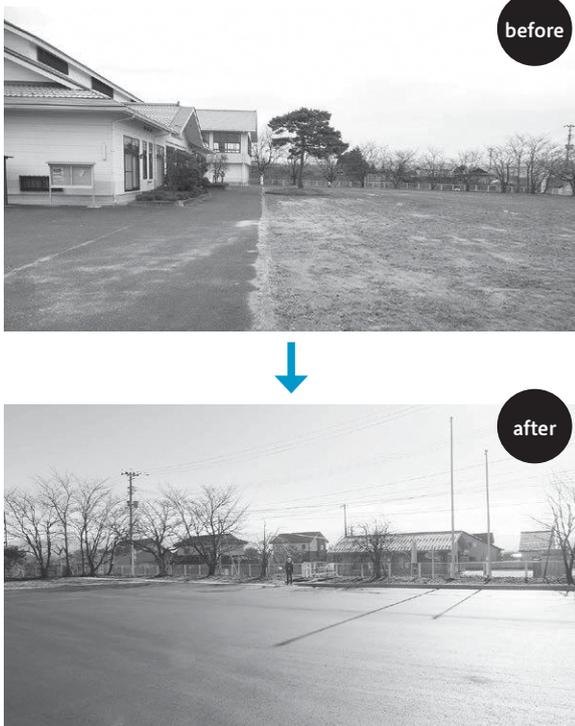
町の歴史・伝統ある文化財施設に係る価値や修景の保存を行うもので、地震等により損傷を受けた佐藤家住宅の復旧修繕を行ったものです。



地区中央集会施設駐車場整備事業

2420万円

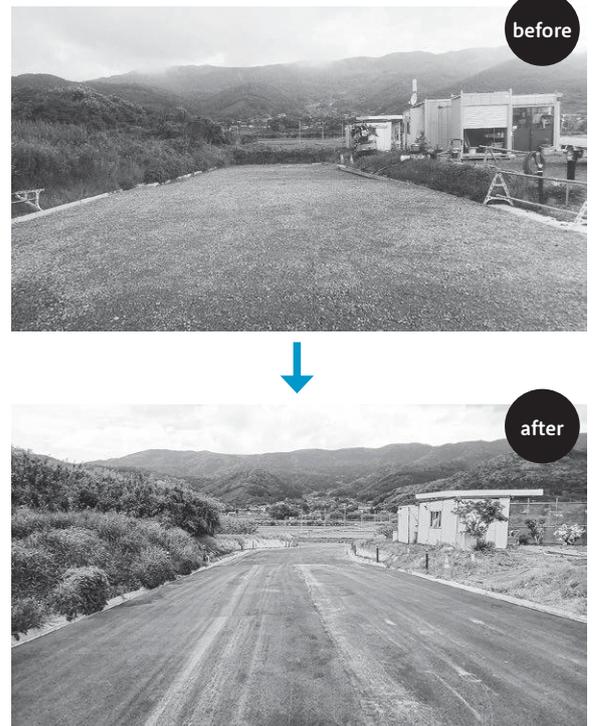
災害発生時の避難者の利便性向上のため、指定避難所である東部高齢者等活性化センターの舗装工事を実施しました。



町道2046号線道路改良事業

1688.5万円

国直轄事業国道4号拡幅工事に伴い、町道2046号線の道路改良工事を実施し、令和6年5月31日に全線開通しました。



歳入

企業版ふるさと納税の見える化を

問 (蒲倉 孝議員)
企業版ふるさと

と応援寄附金15万円は、まちづくり推進事業の財源に含まれているが、どこの企業からの寄付か。

問 (蒲倉 孝議員)
匿名では、企

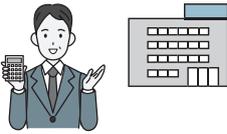
業側のメリットが活かされないがいかか。

大勝企画 調整課長 企業には個々の事情等があるので、情報の公表に関してはご理解いただきたい。

大勝企画 調整課長 寄附企業は匿名希望の1社。

企業版ふるさと納税とは

企業が自治体に寄附をすると税負担が軽減される制度のこと。平成28年度にスタートし、損金算入で約3割、法人住民税と法人税で4割、法人事業税で2割、合計9割の税負担の軽減効果がある。



歳出

新規就農者増に向け制度の拡充を

問 (小林聖治議員)
経営開始支援

資金について、年齢65歳以下が対象と聞いているが、その詳細は。

佐藤産業 振興課長 草刈り機、軽トラ購入

農業ビジネス訓練所の現状と見直し計画は

問 (佐藤 孝議員)
ビジネス訓練

所は農産物販売収入で運営費用を確保する計画だった、計画と現状の乖離は。

佐藤産業 振興課長 収入目標が1000万円、実績が約半分の439万円。

問 (佐藤 孝議員)
町長は運営形態の見直しを言っていたが、町から広域圏での運営等の検討はしたのか。

引地 町長 細かな運営内容の議論はした。町が未来永劫運営するか、広域圏運営かの議論はしていない。

くみに学園構想のゼロベースとは

問 (佐藤 孝議員)
くみに学園構

想凍結後に広く町民の声を聴いてきたか。

中條教育 施設課長 小中の保護者を対象に説明会とアンケートを実施した。

問 (佐藤 孝議員)
凍結しゼロベ

ースとしたが、様々な捉えられているが現状は。これまで中條教育 様々な意見があり、認定こども園を進める考えも、一緒にする考えも持っていない。すべてまっさらな状態。

地域おこし協力隊の在籍人数は

問 (山崎健吉議員)
令和5・6年

度の地域おこし協力隊員の人数と活躍事業について。

大勝企画 調整課長 昨年度は7名の在籍。本年度は9名で関係人口に5名、公営塾ハルに2名、農業関係に2名が在籍し活躍している。



4月から活動を始めた協力隊

公営塾ハルの有効活用を

問

(宍戸武志議員)
教育委員会と

学校、ハルの連携状況は。

小野生涯学習課長

入塾申し込み時の児童生徒への声かけや学校行事・放課後の時間変更の連絡体制を構築している。また、小中学校の学習内容に合わせた学びを提供できるように学習の進み具合の共有をしている。

問

(宍戸武志議員)
入塾者が少ない印象。生涯学習課だけではなく教育総務課でも入塾者増に向けたPRを実施すべき。

小野生涯学習課長

学校と放課後塾ハルと協力し、募集しており、町内回覧等でもお知らせをしている。また、新しいパンフレットの作成・配布を予定している。

老朽化が著しい公共施設の早急な見直しを

問

(蒲倉 孝議員)
観月台文化センター維持管理事業について、30年経過し老朽化が進んでいる。今後の、修繕・改修・改築の計画を、小中学校同様に計画を作成する

考えは。

小野生涯学習課長

観月台文化センターの改修調査を実施しており、全館改修に向けて計画を検討していく。

問

(蒲倉 孝議員)
体育施設の老朽化による公共施設の

見直しについて説明をしてから2年半以上経過した。観月台文化センター公園の橋のようにならないよう、今後の計画について伺う。

遊休不動産の有効活用を

問

(渡辺勝弘議員)
大坂団地のリノベーションは、要望があつて実施したのか。

駅前前のシ調整課長 エアオフィスは満室となっている。

引地町長

外観だけでなく中の機器類も傷みが激しい状況。建設時に本来すべき管理計画の作成をしてこなかった。今後、補正予算での対応が可能か見極めながら、議員の皆さんと協議していきたい。

問

(渡辺勝弘議員)
今後もしリノベーション等により同様の施設をつくる考えはあるか。

大勝企画 全体計画調整課長 では1棟のみではない。遊休不動産があれば検討していきたい。



2階にシェアオフィスが入っているアカリ

傍聴者アンケート抜粋

- 回答者の検討事項は“いつまで”等期限を明示させるべき。
- 前回の一般質問等の検討事項の取り組み結果の報告を求めてほしい。
- くみに学園構想について、様々な意見があるのは良いが、建設的な討議とは言えないと思った。将来展望の視点を取り入れ、建設的な議論をしてほしい。
- 作成された答弁書を読むだけの回答だと感じた。
- 答弁者は、特別な理由がなければ発言する際にマスクを外してほしい。

■ 町債(借金)年度末現在高

会計名	令和5年度	令和4年度
一般会計	54億4083万円	56億6558万円

■ 主な基金年度末現在高

基金	令和5年度	令和4年度
財政調整基金	8億6530万円	8億6518万円
ふるさと振興基金	1億7038万円	1億243万円
復興基金	1億492万円	1億5490万円
公共施設整備基金	3億2032万円	2億9028万円
文教施設整備基金	3億3028万円	3億23万円

■ 令和5年度特別会計決算状況

会計名	歳入総額	歳出総額
後期高齢者医療	1億7606万円	1億7376万円
国民健康保険	9億8821万円	9億6713万円
介護保険	15億6004万円	15億2576万円
土地開発事業	8万円	0円
渇水対策施設	1297万円	1142万円
大木戸財産区	26万円	12万円
入山財産区	26万円	13万円
石母田財産区	158万円	112万円

■ 令和5年度水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億4285万円	2億3966万円
資本的収支	4244万円	1億3401万円

資本的収支の不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

■ 令和5年度下水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億1618万円	2億786万円
資本的収支	6618万円	1億5101万円

資本的収支の不足分は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補てんしました。

議 決 の 結 果

議案番号	件 名	備 考	結 果
報 告 第 7 号	健全化判断比率の報告について	実質赤字額又は連結実質赤字額なし、実質公債費比率3.3%、将来負担比率算定なし。	報告
報 告 第 8 号	資金不足比率の報告について	土地開発事業特別会計・水道事業会計・下水道事業会計について、資金不足比率算定なし。	報告
報 告 第 9 号	教育委員会の事務に係る点検評価報告について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告文書を作成し、議会へ報告するもの。	報告
議 案 第60号	国見町犯罪被害者等支援条例	犯罪被害者等への支援を推進するため、見舞金の支給等について必要な事項を定めるもの。	原案可決
議 案 第61号	国見町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例	町の自然環境、景観、生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るために必要な事項を定めるもの。	原案可決
議 案 第62号	国見町行政手続条例の一部を改正する条例	県条例に準拠し、文言の追加、改正及び削除を行うもの。	原案可決
議 案 第63号	国見町教育委員会教育長の勤務時間及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	他自治体の条例に準拠し、「国見町教育委員会教育長の勤務時間及び勤務条件等に関する条例」と「国見町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例」をひとつの条例に集約するもの。	原案可決
議 案 第64号	国見町税条例の一部を改正する条例	改正公益信託に関する法律が施行されたことに伴い、文言の整理を行うもの。	原案可決
議 案 第65号	国見町税特別措置条例の一部を改正する条例	過疎法及び地域再生法に基づく計画の適用期間が延長されたことに伴い、それぞれ対象期間を延長するもの。	原案可決
議 案 第66号	国見町手数料徴収条例の一部を改正する条例	徴収する手数料の種類及び金額に電子データの交付を追加するもの。	原案可決
議 案 第67号	国見町国民健康保険条例の一部を改正する条例	マイナンバー法等の一部改正に伴い、国民健康保険被保険者証の廃止に伴う文言の整理を行うもの。	原案可決
議 案 第68号	国見町農村地域工業等導入審議会条例の一部を改正する条例	農村地域への産業の導入の促進等に関する法律の一部改正に伴い、委員の人数及び文言を改正するもの。	原案可決
議 案 第69号	国見町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の改正に伴い、引用する条項を改正するもの。	原案可決
議 案 第70号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による被保険者に対する国民健康保険税の減免に関する条例を廃止する条例	減免の対象となる期間が経過したため、条例を廃止するもの。	原案可決
議 案 第71号	工事請負契約の一部変更について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度町単独事業デジタル同報系防災行政無線施設更新工事 ・工事請負金額10,869万円→11,257万円(+388万円) ・緊急速報メールシステム更新及び周辺機器の更新による増額のため 	原案可決
議 案 第72号	伊達市桑折町国見町火葬場協議会規約の一部変更について	協議会の事務所の位置の変更。	原案可決
議 案 第73号	令和6年度国見町一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出補正前 628,630万円 歳入歳出補正額 16,637万円 歳入歳出合計 645,267万円	原案可決
議 案 第74号	令和6年度国見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出補正前 148,086万円 歳入歳出補正額 9,665万円 歳入歳出合計 157,751万円	原案可決
同 意 第 4 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	(新任) 菊地 貴雄 現任者の令和6年9月30日任期満了のため。	同意
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	(再任) 畑 善徳 令和6年12月31日任期満了のため。	原案可決
諮 問 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	(再任) 佐藤 勢津子 令和6年12月31日任期満了のため。	原案可決
諮 問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	(新任) 石塚 いずみ 現任者の令和6年12月31日任期満了のため。	原案可決

条例制定

【議案第60号】

国見町犯罪被害者等支援条例

問 (佐藤 孝議員)
情報の提供助

言のほか、凶悪犯罪やネット・ストーカー行為等の陰湿な犯罪も増えている。被害者への対応と関係機関との連携調整はどの部署で担当するのか。

神住民 多種多様な相談案件

防災課長 が想定されるが、町で判断できない場合は、警察などに支援を求め、住民防災課が現場のワンストップ窓口になる。

【議案第61号】

国見町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

問 (渡辺勝弘議員)
これまで

に設置された再生可能エネルギーは対象外とのことだが、なぜ今条例をつくることになったのか。

神住民 再生可能

防災課長 エネルギー、自然環境または景観、生活環境に及ぶ影響を鑑みて、再エネの設置をする場合の手続等を含めた条例を定めていく計画をしている。

問 (山崎健吉議員)
農家が野菜栽培する際に現在の、灯油等から、10kW以上の太陽光発電に変更しプレハブハウスでの発電を行うことも規制対象となるのか。

神住民 10kW以上

防災課長 については農家に限らず、対象となる。また各種手続や許認可等届けが必要となり、町民に向けた説明会も必要となる。

問 (佐藤 孝議員)
住民説明会を回避するため、10kW未

だ。

条例改正

【議案第68号】

国見町農村地域工業等導入審議会条例の一部を改正する条例

問 (蒲倉 孝議員)
改正前条例に

は、町議会議員が6名

だが。

佐藤産業 現時点で

は、組織さ

満で分割申請する事態が長野県で起きた。把握しているか。

神住民 長野県の

防災課長 事業は把握

問 (佐藤 孝議員)
実質的な一体

神住民 事業所の社員、出資の有無、親会社等、同一事業の密接関係者を規則で定め、関係書類提出を求めて確認、対応する。

れていないため委嘱していない。

問 (蒲倉 孝議員)
なぜ、町議会

議員を外すのか。

改正後の

委員を7名
今後、町で工業団地等を整備する場合、まずは審議会で審議し、議会には同時進行で説明を行う。

補正予算

【議案第73号】

年齢等によりワクチン接種負担が変わる

問 (佐藤 孝議員)
65歳以上のコ

ロナワクチン接種負担は。

佐藤 国83

ほけん課長 00円、町4900円の負担見込みで、個人は2100円で調整している。

問 (佐藤 孝議員)
65歳未満は1

5300円全額負担なのか。

問 (佐藤 孝議員)
新型コナ

佐藤 季節に関係なく起こる学校・医療福祉介護関係者への補助の考えは、近隣の状況を見ていきたい。

障がい児の療育施設が増えている

問 (渡辺勝弘議員)
町外施設へ通

所する障がい児の人数は。

問 (渡辺勝弘議員)
当初予算から

増えた要因は。

黒田福祉課長 令和4年

度平均18名、令和5年度23名、令和6年度7月までで32名の利用。6歳から18歳までの間で、子どもに合った療育を受けている。

黒田福祉課長 近隣市町

で新たな施設が開設されたことにより新規利用者が増え、複数施設を利用されるケースもあるため、月の利用者数、回数が増えている。

速やかな交換で防犯対策を

問 (山崎健吉議員)
交通安全対策

費735万7千円の修理費は。



蛍光灯防犯灯



LED防犯灯

神住民 防災課長 本年度と

来年度で防犯灯のLED化を進めているが、年間約23

0基の玉切れが発生する。防犯灯の役目から速やかに交換するための予算。

移住者に選ばれる町を目指した予算執行を

問 (山崎健吉議員)
町づくり推進

協議会事業、移住・起業・新規支援補助金に243万の交付金と補助金は。

佐藤産業振興課長 まちづく

り推進協議会の補助金については、ビックツリー点灯費用。

大勝企画調整課長 移住・起業・新規支援補助金については、

東京都内及び大阪・仙台に住む大学生が就職活動のため来町する場合の交通費や宿泊補助を行う事業。

問 (八巻喜治郎議員)
移住・定住・新規就

業・新規支

農者に対する補正予算が20万円程度となつて

大勝企画調整課長 都内の学生に対する就職活動の交通費補助に使用する。



ビックツリー点灯の様子

減災に向けた取り組みを視察！

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの一つ、新たな遊水地群の整備予定地の視察に行ってきました。令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえ、浸水被害軽減に向け阿武隈川上流の鏡石町・矢吹町・玉川村に新たな遊水地群を整備する予定です。遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減させるといふ仕組みです。水位が下がったら、排水門を開け川に戻すというものです。

今回、全面買収方式を取るため、地元では該当する土地所有者との交渉が続いています。自分たちだけではなく、下流域に住む我々を含めた人たちのため、長年住み慣れた土地を離れるという苦渋の決断を迫られた方がいるということを、我々は知っておく必要があります。

今回、全面



遊水地予定地の一部

～8人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



令和6年第5回 国見町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和6年9月3日提出)

通告順位	質問事項	答弁者	通告者
1	当町における「全国学力テスト」の結果について	町長	ししど たくし 穴戸 武志
2	小中学校の教育現場の現状と教員の働き方等について 認知症支援「チームオレンジ」について	町長	やまざき けんきち 山崎 健吉
3	ごみの排出量の低減に向けた取り組みと今後の課題について	町長	わたなべ かつひろ 渡辺 勝弘
4	高温による農作物の被害状況とその対策を伺う 町内の鳥獣被害状況と対策を伺う 熱中症の患者数とその予防対策を伺う	町長	まつうら つねお 松浦 常雄
5	「くにみ学園構想」凍結後の進捗を伺う 屋外遊具修繕検討を伺う	町長	かばくら たかし 蒲倉 孝
6	国見町の活性化について	町長	やまざき じろう 八巻喜治郎
7	町内会要望への対応について 情報公開条例に基づく開示請求について 職員採用試験について	町長	こばやし せいじ 小林 聖治
8	町内会施設建設事業補助事業の見直しについて 生活道路等の整備基準について	町長	さとう たかし 佐藤 孝

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

町政を問う

一般質問

9月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。



議会中継
アーカイブ



議員 武志 央戸

学力向上に向け、きめ細やかな指導を求める

「全国学力テスト」結果と今後の対応

問 本県の小中学校の結果は、国語と算数・数学ともに

全国平均を下回る結果となった。当町の結果はどうだったのか。

大勝教育総務課長 素点そのものはしていないが、全国平均との比較で、小学

生国語は同等、小学校算数と中学校国語・数学は低いという結果。

問 県は結果を受け、市町村教育委員会を交えた臨時の対策会議を開いた。当町も危機感を持ち学力向上に取り組むべきと考えるが、会議の内容と町の考えを伺う。

大勝教育総務課長 会議では、県全体が同一歩調で授業の改善をしなければならぬという話があった。当町では、県からの情報伝達と課題の共有、学校

毎に具体的な検証を指示・指導をした。

問 令和4年度の結果を踏まえ、昨年度に改善した点・未改善点と今年度の取り組みについて伺う。

大勝教育総務課長 昨年度の結果を受け、①家庭学習の手引きを

小中学校相互に確認し、それぞれの発達段階に応じた内容を確認。②読書のさらなる推進③ICT機器を活用した授業の質的改善④全教員で授業研究会を行い、授業の質的改善等を進めている。今後も継続的に取り組む。

問 当町では、県北教育事務所の指導主事に数学や英語の指導をお願いしている。県は対象科目を国語に拡大するとしたが町で活用する予定はあるか。

大勝教育総務課長 積極的に活用したい。

名配置し、授業支援等を行っている。



問 自宅でのSNS等の利用時間が問題となっている。SNS等の閲覧について指導しているか伺う。

大勝教育総務課長 情報モラル教育として、SNS利用による弊害等について指導し

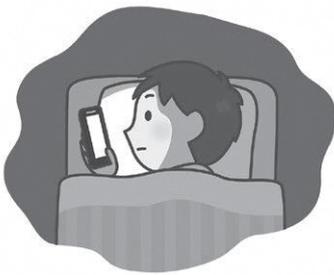
ている。また、中学校の生徒会が「9時になったら親スマホ」をスローガンにスマートフォン利用時間の制限を呼びかけている。

問 東北では秋田県が全国トップ級の順位を維持しており、学ぶことが多々あると思うが、秋田県の取り組みに対する当町の考えを伺う。

大勝教育総務課長 秋田県が学力向上の要因として挙げていることは、①望ましい学習習慣や生活習慣が定着するよう家庭・地域と連携を進めてきたこと②一人ひとりへのきめ細かな学習指導対策③学校教育、家庭教育、社会教育が連携していること等。当町の課題は、「一人ひとりへのきめ細かな指導」と考えている。

問 当町でのICT活用を伺う。

大勝教育総務課長 当町の児童生徒のICT活用の意識は全国平均より高い。また、6月からICT支援員を新規で小中学校に1



教育現場の現状・認知症支援は

教育の現状と教員の働き方改革

問 小中学校の不登校者数と要因は。

としては、親子の関わり方と推察している。

大勝教育 総務課長 昨年度の不登校者は

問 不登校者の自立に向けた指導方法を伺う。

小学生6人、中学生12人で本人に起因する原因としては、無気力・不安・生活リズムの乱れ・家庭に関する要因

大勝教育 総務課長 令和4年に観月台文

化センター内に教育支援センターを開設し専門指導員を配置し指導している。

問 全国学力テストの結果を受け、教え方や塾の選び方等、今後の取り組みは。

大勝教育 総務課長 基本的に学校と塾の

役割は異なる。町は公営塾ハルや高校入試対策講座等を開設し児童生徒、保護者の思いに寄り添いながら、それぞれの目標達成に向けた支援に努めている。

問 令和4年・5年度の小中学校教員の時間外労働は、月間どの程度か。

大勝教育 総務課長 国見小学校の令和4年度は平均43時間、5年度は33時間。県北中学校では、令和4年度67時間、5年度57時間。

問 部活の地域移行の具体的な実施時期と現状は。

大勝教育 総務課長 基本的な学校と塾の

役割は異なる。町は公営塾ハルや高校入試対策講座等を開設し児童生徒、保護者の思いに寄り添いながら、それぞれの目標達成に向けた支援に努めている。

役割は異なる。町は公営塾ハルや高校入試対策講座等を開設し児童生徒、保護者の思いに寄り添いながら、それぞれの目標達成に向けた支援に努めている。

大勝教育 総務課長 令和7年度末までに

部活動の休日の活動について、地域クラブ活動へ移行する。町では令和5年度から移行推進協議会等を開催してきた。現在は卓球部の休日活動に指導者が参加している。他の運動部は調整中。今後は文化部についても検討を進めたい。



小学校視察の様子

問 ヤングケアラーの認定基準は。

黒田福祉課長 こども家庭庁の定義

は、本来大人が担うと想定される家事や家族

の世話を日常的かつ過度に行う子どもとして

問 令和4年3月の議会では該当者なしだったが、同年9月の福島県の調査では、数人いるとの結果。たった数カ月で乖離があるのはなぜか。

黒田福祉課長 調査では9名の児童・生徒がお世話を必要とする家族がいると回答しているが、その後の児童・生徒へのヒアリング等ではヤングケアラーに該当する児童・生徒はいなかった。

認知症支援「チームオレンジ」

問 県は「チームオレンジ」を令和7年度まで実施するとしているが当町の取り組みは。

黒田福祉課長 現在立ち上げに向け

キャラバンメイト23名と検討している。また地域包括支援センターに推進員を委託し、認知症の正しい理解の普及啓発に努めている。

症の人数と、今後の介護職員の確保は。

黒田福祉課長 要介護認定者は58

5名で認知症の診断が出ている方は539名。介護職員の確保に向け、子どもが介護に関心をもつきっかけづくりとして、認知症サポート養成講座等を行っている。また依頼があり、資格や経験不要の「介護助手」募集の案内を広報くにみに掲載した。

問 現在65歳以上の要介護で認知

は、本来大人が担うと想定される家事や家族

ごみに関する町民の意識向上を図るには

生ごみ処理機モニター事業の目的は

問 町独自で実施しているごみ排出量を軽減するための対策は。

町独自で実施しているごみ排出量を軽減するための対策は、「生ごみ処理機モニター事業」を実施している。

策などを考えているか。

神住民 アンケートを参考に

モニターからの意見や要望を聞き、生ごみの減量化へ向けた取り組みを検討する。

の削減につなげていきたい。

問 福島県の生活系ごみの排出量は全国ワースト2位という結果だが、当町の状況は。

神住民 当町における生活系ごみの排出量は、平成21年度約2・4tから令和4年度の約2・5tをピークに令和5

年度は約2・2tに減少している。



生ごみ処理機イメージ図

の意識向上を生活環境推進員等と連携し進めていきたい。

問 町民の意識を向上させるための町長の考えは。

町引地 様々な課題があるが、まずは町民一人当たりのごみの排出量等を精査し、それを減らすための具体的な政策を伊達衛生処理組合や生活環境推進員との意見交換の場を設け、国見町全体で

ごみの減量化を図りたい。

生活推進委員と共に意識醸成を

問 当町は他市町よりごみの分別が徹底されている。これは町民の意識が高いためと思われるが、さらに良くするための取り組みは。

神住民 広報やホームページを使い周知のほか、町の転入者へ「ごみの分け方・出し方ハンドブック」を配布し説明

している。さらに小学4年生の課外授業では伊達地方衛生処理組合清掃センターを見学し、ごみの分別や処理方法等の学習を行った。また、昨年より小学校高学年から高校生を対象に町内のごみ拾い活動やごみ処理施設の見学を行い、若年層にも理解を深める活動を行っている。さらなる町民



わたなべかつひろ 渡辺勝弘 議員

神住民 「ごみの問題」については、広報及びチラシで呼びかけてきた。今年度は、生ごみの減量化に向け、試験的に

問 生ごみ処理機モニターの実施する目的は。

神住民 モニターへ生ごみの量や使いやすさ等のアンケートを行い、今後の生ごみ減量化に向けた取り組みの一つとして進めていくべきか検証することを目的としている。

問 ごみの減量化に向けて、支援

策などを考えているか。
神住民 アンケートを参考にモニターからの意見や要望を聞き、生ごみの減量化へ向けた取り組みを検討する。

問 当町は他市町よりごみの分別が徹底されている。これは町民の意識が高いためと思われるが、さらに良くするための取り組みは。
神住民 広報やホームページを使い周知のほか、町の転入者へ「ごみの分け方・出し方ハンドブック」を配布し説明

している。さらに小学4年生の課外授業では伊達地方衛生処理組合清掃センターを見学し、ごみの分別や処理方法等の学習を行った。また、昨年より小学校高学年から高校生を対象に町内のごみ拾い活動やごみ処理施設の見学を行い、若年層にも理解を深める活動を行っている。さらなる町民



職員から説明を受ける転入者

高温・有害鳥獣による農作物の被害対策は

高温による農作物の被害状況は

問 高温被害の農作物の種類は。

乳白、胴割れなどが見られた。

佐藤産業 振興課長 昨年の被害状況を含

めて、米は、品質の低下が見られた。

令和5年産米の1等米比率が49%で、過去5年間の平均88%を大きく下回った。また、

サクランボは、昨年の高温により、双子果が一部の園地で見られた。

モモは、今年の早生種では、高温により、生育が一気に進んだことから、収穫期が短くなり、柔らかくなつて規格外のモモが増えた。しかし、その他はおおむね順調で、モモの販売価格は過去最高が見込まれる。



まつうらつねお 松浦常雄 議員

リンゴは昨年、高温による着色不良で贈答用のリンゴが確保でき

ず、今年度も同様の影響が懸念される。

キュウリは高温で生育が進まず、収量が減少する畑が一部で見られる。

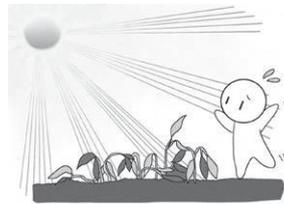
鳥獣被害状況とその対策は

問 現時点での町内の鳥獣被害の状況を伺う。

佐藤産業 振興課長 有害鳥獣による農作物の今年9月3日現在の被害金額は157万2千円で、昨年同時期は27万1千円、130万1千円の増である。

なお、現時点での有害鳥獣の捕獲頭数は、イノシシは昨年46頭、

総合的な被害対策は、農業者に対する技術支援に尽きる。さらに、速やかな被害状況の把握に努めるとともに支援制度拡充などを県に要望していく。



問 有害鳥獣から農作物を守る対策は。

佐藤産業 振興課長

個人としての対策は、

電気柵設置予防、花火による追い払い、放任果樹木の伐採など。地域としての対策は、侵入防止柵の設置・管理さらに、見晴らしを良くする緩衝帯の整備などである。

町としての対策は、有害鳥獣対策実施隊による柵の設置・見回り・捕獲、電気柵設置・侵

熱中症の患者数と予防対策は

問 この夏熱中症で救急搬送された人は、何人か。

佐藤 ぼけん課長 4月から8月までで6人である。

問 町の熱中症の予防対策は。

佐藤 ぼけん課長 暑さを避けるための冷房設備の積極的な利用、日傘や帽子の着用、暑い日は、日中の外出を控え、涼しい服装にしたり、こまめな水分補給、日中の暑い時間帯の作業を避けるなど呼びかけていく。

問 熱中症の主な要因は何か。

佐藤 ぼけん課長 除草作業中に直射日光を浴びたことやエアコンを使わず脱水症状をおこしたことが主な要因。



捕獲されたイノシシ

入防止柵管理に伴う財政支援などである。

「くみにみ学園構想」凍結後の進捗は

ゼロベース後は意見聴取のみ

問 くみにみ学園構想について、凍結したとの説明ばかりだが進捗は。

中條教育施設課長 ゼロベースで検討を進めることとし、まずは保護者の方々へ説明会等を行った。

アンケートでは、「課

題があるのに、構想を凍結している場合ではない」、「くみにみ学園構想のようなものは必

要」、「既存建物は老朽

化が進んでいる」、「国

見らしいコンパクトな

学校を検討すべき」と

の意見がある一方で、「一

体的に整備する必要は

はない」、「小中は別

でよい。認定こども園

の整備を進めるべき」、「

ハード整備は慎重に行

うべきで、既存施設を

活用すべき」などの意見

向こう40年間のトータルコストを比較すると、長寿命化改修をする場合の方がコスト高との試算結果が出ている。

総合計画を修正前に戻す考えは

問 第6次国見町総合計画、施策

3-1-1「認定こ

ども園の計画」が一部変

更されている。くみに

み学園構想を凍結したの

であれば、元に戻すべ

きだと思いがいがか。

町長 令和4年8月に

総合計画審議会

で、追加・訂正した部分



使用が禁止・制限されている屋外遊具



屋外遊具の点検結果は

問 3月より使用停止の遊具につ

いて、ある町内会

でアンケートを

検討したそう

だが、原状復帰

の要望多数の状

況から、ア

ンケートを控

えたとのこと。

中條教育施設課長 使用不可

判定となった

35基のうち、7

基を地域の方

々と確認を行

は、危険な開口部が指摘された滑り台など、修繕方法について検討を進める一方で、劣化が顕著であることから、町内における遊具の在り方に関する議論が必要と考えている。

今後、町内会など地

域の方々の意見を伺い

ながら、施設ごとの目

的や、必要な機能・設

備を検討し、一定の方

向性を出していきたい

と考えている。

また、安全基準を満

たすための対応として、

基礎の露出が指摘され

たブランコや大型遊具

など12基は、基礎部分

を覆うためのゴムマツ

トを敷いたり、盛土を

するなどの修繕を行な

※他にも左記の質問をしております
認定こども園と義務教育学校の、同一敷地や同一建物の見解について再確認。



議員 孝 浦倉

町民が誇れるまち づくりを

産業振興のための支援を求める

問 町が薦める当
町の特産品や名
産品について伺う。

工品として、あんぼ柿
等がある。

**佐藤産業
振興課長** 当町の特
産品として

は、生産量が一番多い
モモ。その他、サクラ
ンボ、あんず、プラム、
ブドウ、リンゴ等の果
物、お米、さらには加

問 国見町の特産
品や名産品の開
発や取り組みに対する
町の支援はあるのか伺
う。

**佐藤産業
振興課長** 地域資源
を活かし、
農業・産業振興に寄与
するため、意欲をもつ

効果的な町のPR方法の検討を

問 国見町ならで
はの歴史と観光
地の整備について、今
後の計画を伺う。

地元の食材を使用し
た特産品の開発、研究
を目的とした取り組み
に対し、町では補助率
3分の2、上限40万円
とする国見町特産品開
発事業補助金がある。



町特産品の数々

**大勝企画
調整課長**

独自性や
独自の歴史
を持つ国見町の歴史
と文化財は、観光資源

として魅力のあるアイ
テムである。町では、
第2期歴史的風致維持
向上計画の策定を現在
進めている。

**佐藤産業
振興課長** 歴史と観
光地の今後

過疎地域持続的発展計
画には、道の駅国見あ
つかしの郷第2駐車場
整備と阿津賀志山展望
台更新の協議、以上の
2点がある。

問 国見町独自の
限定品やイベン
トの計画等はあるのか
伺う。

**佐藤産業
振興課長** 国見なら
ではの限定

品としては、国見バー
ガー、日本酒あつかし
さん、桃プリン、桃大
福等の特産品を使用し
た商品がある。今後も
国見町のオリジナル商
品等を地域おこし協力
隊や国見まちづくり株
式会社と連携して進め

る。イベントとしては
義経まつり、中尊寺ハ
スマつり、あつかし山
ビッグツリーなどがあ
る。今後、財源確保が
見込めれば新たなイベ
ントの開催も検討して
いきたい。

問 国見町のPR
や情報発信は現
在、具体的にどのよう
なことを行っているの
か伺う。

最新の情報をもとに発
信することができると
が重要であると考えて
おり、積極的に国見町
をPRしていく。

藤田駅前を含む開発の計画は

問 藤田駅前を含
め、現在どのよ
うな計画があるのか伺
う。

**大勝企画
調整課長** 令和4年
9月に策定

した国見町過疎地域持
続的発展計画に基づい
て計画を進めている。

**村上建設
課長** 国見町で
は、藤田駅

前の利用、利便性向上
や賑わい創出のため、

**佐藤産業
振興課長** 国見町内
では、国見
町を巡るツアーを実施
している。国見町外で
は、北海道・岩手県・
宮城県・栃木県・東京
都・岐阜県で農産物P
R販売事業を実施して
いる。情報社会の中で
最新の情報を的確に発
信することができるか
が重要であると考えて
おり、積極的に国見町
をPRしていく。

駅前ロータリーを含む
広場の整備、町所有地
を利用した居住環境の
整備、さらに住みよい
まちなか空間整備のた
めの親月台公園整備な
どの総合的なまちづく
り計画である立地的成
果計画策定に取り組ん
でいる。



八巻喜治郎 議員



小林 聖治 議員

条例に沿った情報の開示を求める

町内会要望の優先順位は

問 町内会要望の予算計上の優先順位は。

町長 どちらかというとも継続要望が新規要望に比べて優先度が高かったという印象。継続要望も実施主体が町なのか、国や県なのかによる。

ある。町が実施主体になるものについては、継続要望を優先した印象を持っている。

問 継続要望を優先的に実施してきたとのことだが、現時点で継続要望が残っている。まだ手のついていない箇所はどのくらいあるのか。

町長 今年度の継続要望の割合は28%あるが、この中には河川改修など、国、県が主体となつて行わなければならないような重い要望もある。これ

は2年、3年で解決できるものではないため、町が要望を受けて県や国にお願いをするという筋道になっている。今年度に関しては25

条例に沿った判断を

問 本年度も含めて過去3年間の開示請求は何件あったか。

澁谷総務課長 令和4年度が9件、令和5年度が13件、令和6年度はまだ途中だが4件。

問 不開示した件数は、今年度も含めて過去3年間で何

件あったか。

澁谷総務課長 令和4年度が1件、令和5年度が1件、令和6年度はない。

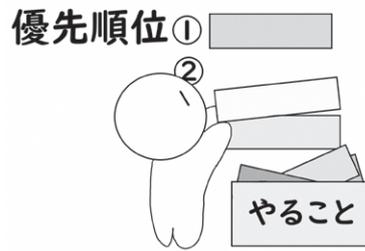
問 情報公開条例の第5条には、何人も開示請求できるが、町民でないことを理由に不開示あるいは却下したことがあるか。

澁谷総務課長 率直に残念だと思っ

問 町内からの応募者がいないことに対してどう考えているのか。

澁谷総務課長 魅力ある職場づくり、呼び込む形で、就活生にPRしていくというのも一つのスタイルであると思っ

0件の要望があり、件数も増えている。自身は去年、一昨年、令和元年度から継続で出されているものもある。



町内応募者を増やす方策を

問 今年の大学卒の応募者は何人か。

澁谷総務課長 8名である。

問 町内からの応募者は何人だったのか。

澁谷総務課長 町内からの応募者は

問 町内からの応募者を増やすための方策は考えているのか。

澁谷総務課長 魅力ある職場づくり、

呼び込む形で、就活生にPRしていくというのも一つのスタイルであると思っ

ているが、憲法にも職業選択の自由が保障されているため、どこを選ぶのかは自由であると認識している。

を図り、もって町の行政活動について町民に説明する責務を全うし、町民の積極的な町政参加の下公正で民主的な町政の推進に資することを目的」という部分を主張したものを。



設計費や補助率・補助額の見直しを

町内会施設補助内容は見直しを検討

問 集会施設補助要綱を定めて23年経過したが、改定してきたのか。

榊住民

防災課長 制定後は改正していない。

問 過去10年での補助内訳等の実

績は。

榊住民
防災課長

修繕15件で431万、増改築改修4件で309万円を補助している。

問

備品は全て補助対象外だ。補助対象とするよう検討する考えはないか。

榊住民
防災課長

建物の補助を優先することや各町内会の使用備品に違いがあり、一律対象外としている。今後も町内会での対応をお願いする。

問

設計費も補助対象外だが設計と建築は一体だ。例えば、見積りが改修一式とあれば全額対象で、設計と改修を別々に書けば設計は対象外。書き方で補助が変わるのは好ましくない。

榊住民
防災課長

新増築も、補助対象への見直しを検討する。

問

補助率や限度額の見直しも必要と言える。高齢化が進み、年金が生活の基となる世帯が増えている。町内会の世帯額負担を考えると見直しが必要では。

引地

町内会連絡協議役員との協議をし、見直しを前提に考えたい。

問

地震等の災害による損傷は町が負担すべきでは。

引地

災害時の一時避難所との考え

未整備の道水路修繕指標を作成する

問

生活道水路の修繕要望は年間どの程度あるのか。

村上建設課

令和4年度が86件、5年度は60件あった。

問

要望内容は、町内会と情報共有がされているのか。

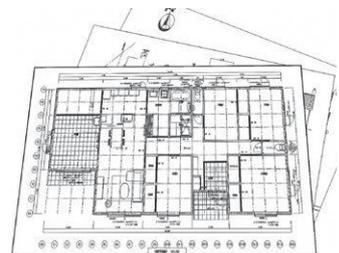
村上建設課

共有はできています。

問

平成29年頃、5方部の町内会長に要望事項の優先順位を付けさせる提案が

もあり、前問同様に検討を進めたい。



設計図イメージ

されたが、今もその考えはあるか。

村上建設課

様々な意見を実施箇所は町が決定した、現時点でその考えはない。

問

首長選挙が近づくと、選挙対策で事業が急に動き出すことがある。今年度の生活道水路予算編成の根拠、シーリングの有無はどうなのか。

澁谷総務課

前年度を上回らない

額で予算編成している。シーリングは設けていない。

引地

継続要望を減らしたいの考えで、町内会要望をもとに予算編成をしている。

問

事業実施の優先順位付けは。

村上建設課

危険度・劣化・損傷状況・緊急性等を判断しながら決定している。

問

貴重な財源使途に客観性を持たせることは極めて大事だ。明文化されていない優先順位付けの根拠を明文化する考えはあるか。

引地

客観的な指標は必要だと思っ

ている。今後は、ある程度の指標を設け、町内会長の理解を得ながら町の方針を決めていきたい。



議員 佐藤 孝 議長

みなさんからの 請願

9月定例会では請願1件を産業建設常任委員会で審査し、不採択とすることに決しました。

請 願	提 出 者
「国見町大字藤田字日渡三地内造成を求める意見書」の提出を求める請願について	平館 守 (ほか6名)
請願内容(要約)	不採択の理由
国見町大字藤田字日渡三地内への侵入道路がないことから、土地の利活用のために道路の整備を求めるもの。	本件は、道路整備後に土地所有者が活用方法を検討したいという意向を踏まえ、土地所有者で整備する、もしくは町内会要望等として行政へ要望することが妥当であると委員会で判断し、不採択とすることに決した。

議員活動報告書

(令和6年7月10日以降)

7月10日	令和6年第4回臨時会	全議員	8月11日	徳江「豊年盆踊り」	議長
	議会運営委員会	議会運営委員	8月14日	小坂地区豊年仮装盆踊り大会	議長
	全員協議会	全議員	8月20日	水企業団8月定例会議案説明	議長
7月16日	総務文教常任委員会現地調査	令和6年度町村議会正副議長・事務局長研修会		正副議長	
7月17日	自衛隊国見町家族会総会	議長	8月21日	総務文教常任委員会	総務文教常任委員
	7月17日	国見町子ども議会		議員懇談会	全議員
7月19日	議員懇談会	全議員	広報常任委員会	広報常任委員	
	7月19日	第19回伊達郡町議会議員大会	全議員	8月23日	ふくしま田園中枢都市圏議会議長連携推進協議会
7月23日	伊達郡町議会懇親会	全議員	8月26日	議会運営委員会	議会運営委員
	7月23日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会		組合議員	全員協議会
7月25日	例月出納検査	監査委員	8月28日	水企業団例月出納検査	議長
7月29日	水企業団例月出納検査	議長	8月30日	例月出納検査	監査委員
8月3日	国見夏まつり	議長		福島地方水道用水供給企業団議会定例会(福島市)	議長
8月7日 ~8日	令和6年度消防組合議会議員視察研修	組合議員	9月2日	決算審査講評	監査委員
8月9日	産業建設常任委員会	産業建設常任委員			

全国町村議会広報研修会へ参加

広報常任委員会は9月25日、手に取って読んでいただける「議会だより」を目指し、北は北海道から南は沖縄までの研修会に参加しました。

研修会で学んだ事を活かして作成しました。今後も改善を重ね、より良い「議会だより」をお届けいたします。

- ① 読まれる議会広報紙の作り方
 - ② やってはいけないデザイン講座
 - ③ 「議会だより日本一」埼玉県寄居町議会の挑戦
- 今回の議会だよりも、



広報常任委員会研修会
(東京・ニッショーホール)

一部事務組合報告

※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

福島地方水道用水供給企業団議会

8月30日、企業団議

会定例会が開催されました。提出議案は2件で、議案第3号は、令和5年度水企業団事業会計の決算認定、議案第4号は、水道施行令の一部改正に伴う条例改正でいずれも原案のとおり

り可決されました。

伊達地方消防 組合議会

6月21日、第4回議会臨時会が開催されました。

審議に先立ち、消防組合の諸般の報告、提案理由の説明があり、

議案審議では、中央消防署浸水対策等工事の

工事請負契約の締結について、さらに災害対応特殊ポンプ自動車1

台の購入他1件の審議が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。

(報告者 小林聖治)

総務文教常任委員会

■令和6年7月16日

○教育施設課所管事務調査(国見小学校・県北中学校視察)

国見小学校では、ディスプレイを使用した授業や創意工夫された授業など、教職員のマンパワーの重要さを感じ、県北中学校では、

授業における支援員の積極的活用など努力の跡が見てとれました。

児童生徒数が減少していく中で、小学校、

中学校の参観、視察を通して、小中一体教育

公営塾ハルの「学習

コース」、「見晴るかすコース」等の特色ある

活動状況の説明を担当者から受けた後、運営等について様々な意見交換をしました。

(報告者 小林聖治)

高規格救急自動車研究開発事業 事務調査特別委員会

高規格救急自動車研究

開発事業事務調査特別委員会を次のとおり開催しました。

■令和6年9月19日
(第22回委員会)

調査報告書概要版について協議しました。

その他の活動

7月10日 第4回町議会臨時会において、調査報告書が賛成多数で可決されました。

同日 県庁県政記者クラブで記者会見を行いました。

9月27日 調査報告書概要版を全戸配布しました。

産業建設常任委員会

■令和6年7月5日

産業振興課所管事務調査(鳥取及び泉田地内の現地)

ふくしま森林再生事業について

従来の教科の勉強だ

けにとどまらない新しい学習塾の可能性を感じ、これらの実施、運営をわが町で行っていることは、他に誇れるものだと感じました。

(報告者 小林聖治)

鳥取地内の間伐・新植で11ha作業道1・4

km、泉田地内の間伐21ha、作業道4・3kmの一部について現地確認

しました。鳥取地内の

新植は杉が中心です。また、泉田地内はアカマツ間伐が主となっています。苗木の生育状況、今年度の間伐進捗やクマ対策などについて積極的な意見交換がされました。

■令和6年9月3日
(委員会室)、10日(請願

現地および委員会室

請願第3号の審査について

藤田日渡三地内造成を求める請願について審議しました。審議では、請願内容は土地所有者自らが開発処分

するのが基本で請願にはなじまず、不採択にすべきと決定しました。

言わせて！ 町・議会に思うこと

議会報告懇談会開催

国見町議会では、9月定例会の内容など議会の活動内容を町民のみならずにお伝えするとともに、議会に対するご意見・ご要望をお聞かせいただく場として、議会報告懇談会を開催いたします。

この機会に、ぜひみなさまの声をお聞かせください。

日時

令和6年10月20日(日) 14:00~15:30
令和6年10月21日(月) 18:00~19:30

会場

観月台文化センター 第一和室

農地を守り、農業を続けるために

私は、定年退職した後農業に従事し、10年が経ちました。はじめは、両親が残してくれたモモの栽培と水稲種子栽培を妻と二人で趣味程度に行っておりましたが、高齢化で担い手のいない近所の方々から田んぼを頼まれ、今では面積が当初の10倍となりました。

国見町の「水稲種子栽培」は歴史が深く、昭和37年まで遡ります。この栽培方法は管理基準が非常に厳しく、年3回の審査に合格しなければなりません。私は、安全で美味しいと言っていただけの米を作ることに生きがいと誇りをもっています。ただ、課題もあります。国見町種子生産組合も高齢化と担い手不足が否

めず、約10年前には100名近くいた会員も、現在では65名となってしまいました。そんな中、我が家に「新規就農者」が誕生したのです。「ピンチはチャンス」と捉え、息子が脱サラしてくれました。親子で協力しながら、息子はモモを中心に水稲の一部と冬野菜栽培を担当し、私は水稲種子栽培を担当しながら経営をしています。

「農業は重労働」というイメージから、新たな働き手が見つかりにくく、この地域でも人手不足の問題を抱えているというのが実情です。その課題を解決するには、若い人たちに様々な方法で農業の魅力を伝えていくことが大切だと思っています。私は、これから先どんなことがあるうとも、地域の農業を守ってくれる若者を心から応援していきます。「がんばれ！未来を担う若者たち！」



津田哲夫さん

(第1町内会)

Uターン就労「希望の星」

新規就農者として活躍する
佐久間秀幸さんを徹底取材！



コンバインを操る佐久間さん

【表紙インタビュー】

佐久間秀幸さんは、塚野
目在住の43歳。

令和4年度国見農業ビジネス訓練所長期研修を卒業し、翌年認定新規就農者となり日夜農業に励んでいる。

栽培しているトマトは「シユガープラム」で、とても甘いことで評判が良くピーターが続出している。

Uターン就労前は、仙台市で空調設備等の仕事をし

ていた事から、ミニトマト栽培の給水・追肥の方法は、訓練所で学んだ事を取り入れ装置を手作りしている。

また、重機の知識と器用さを活かしてオペレーターを請け負い、コンバインを操っている。

さまざまな手法で農業を営み、活躍する佐久間さんは、まさに国見の「希望の星」だ。

編集後記

令和6年9月定例会が終了した。去年は一般会計決算認定が否決されるという異常事態となったが、今年は大きな問題もなく提出議案はすべて原案どおり可決された。

さて、少子高齢化は全国的な問題ではあるが、国見町は過疎指定を受けた町として、町民が心豊かに暮らしていくにはどうすればいいのか考えていかねばならない。議長研修で講師の先生が話していた言葉が印象に残っている。「小さくとも質を高める」ことが重要であると。この言葉を胸に議員として活動していきたい。(佐藤定男)

- | | | |
|---------|------|-------|
| 発行責任者 | 議長 | 佐藤 定男 |
| 広報常任委員会 | 委員長 | 蒲倉 孝 |
| | 副委員長 | 佐藤多真恵 |
| | 委員 | 佐藤 定男 |
| | | 松浦 常雄 |
| | | 佐藤 孝 |
| | | 菊地 勝芳 |

